

インクジェット用 LB-CDRJP3/315 ホワイトフィルムCD-Rラベル

使用方法

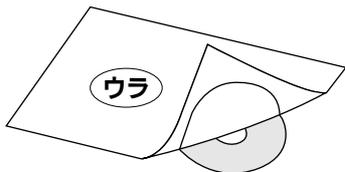
参考

貼り方のコツ

エア抜けが大変よく、気泡のできにくい特殊なノリを使っていますが、貼り方には十分ご注意ください。

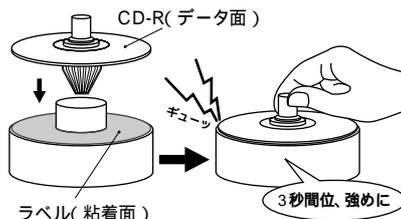
コツ1.

- ラベルを剥がすときは、ラベルが反らないように、必ずウラ側から剥がします。



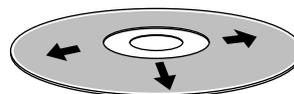
コツ2.

- 差し込むときに、ギュッと押し込んで、ラベルをCD-Rにしっかり貼り付けます。(約3秒位)
- 軽く貼りつけると、仮止めされたラベルとCD-Rの間に空気が入って気泡ができやすくなります。



コツ3.

- それでもまだラベルが少し浮いているようなときは、空気が逃げるよう、内から外に向かってそっとラベルをなぞります。先に外側をなぞると、入った空気が抜けにくくなることがあります。



- 1) 対応ソフトの「用紙選択」の画面で「サンワサプライ LB-CDRJP315」、「LB-CDRJP3」もしくは「LB-CDRJP」を選んでください。もしない場合は、各ソフトのマニュアルに従って用紙を新たに登録してください。
- 2) CD-Rラベルに印刷する前に付属のテストプリント紙でテスト印刷をして印刷位置の確認をしてください。(テストプリント紙は必要に応じてコピーしてお使いください。)
- 3) 印刷面がプリンタのノズル側にくるように用紙をセットしてください。
- 4) この用紙は、手差しで1枚1枚給紙してください。また上下方向がありますのでプリンタにセットする時はご注意ください。
- 5) 使用するプリンタの種類により、わずかに濃淡の差がでる場合があります。その場合は、各機種の取扱説明書に従い、濃度調節を行ってください。
- 6) 目的に応じた、より高品質な出力結果を得るために、プリンタ各種に応じてカラーバランス・ガンマ補正・各色の濃度などを調整してください。
- 7) ラベルを貼る面の水分や油分、ゴミやホコリなどの汚れなどを取り除いてきれいにし、印刷が乾いてからラベルを貼ってください。

ラベルの貼付は、別売の貼り具をご使用ください。

注:カーオーディオなどスロットインタイプのCDドライブで、ラベルを貼付したCD-Rを使用すると、取り出しが上手くできないことがあります。このタイプのCDドライブでのご使用は避けてください。

<印刷>

印刷の際には下記のモード設定でご使用いただくと良好な画像を得ることができます。

用紙設定・モード設定(例)

プリンタ	用紙設定	印刷モード
エプソン	光沢フィルム	よりきれい / スーパーファイン / 高精細 / オートファイン
キャノン アップル	光沢フィルム	スーパーフォト / 超高品位 / 高品位
NEC・HP	光沢紙	高精細 / ベスト / 高品位
	専用紙	

HP・NEC製のプリンタで顔料系の黒インクを使用する場合

1. 耐水性を優先する場合は光沢紙を選んでください。
2. 画質を優先する場合は専用紙を選んでください。(顔料系インクは水分と摩擦によりはげることがあります。)

使用上の注意

ラッカー層及び反射層をひき剥がすおそれがありますので、CD-Rに一度貼ったラベルは剥がさないでください。CD-Rにラベルを貼付後、温度差・湿度差等によっては不具合の生じるおそれがあります。お客様の不注意によるデータ破損については、その責を負いかねます。スロットインタイプのCDドライブでの使用はお避けください。

表面に凸凹のあるCD-Rではラベルがはがれるおそれがありますので、ご注意ください。

機種により、またモノクロ印刷・カラー印刷により上下余白の印刷範囲が異なるため、最終行まで印刷できない場合があります。ご確認ください。

印刷前にラベルを剥がすことはプリンタトラブルの原因にもなりますのでお避けください。

ラベル面に汚れや指紋をつけないように用紙の端を持つようにしてください。

用紙がカールしたり、シワにならないように取り扱ってください。万一、カールしたら必ずカールを直してから使用してください。また、この時、用紙の表面が波状にならないように注意してください。

万年筆や水性ペンで書くのにじむ恐れがありますので、ご確認の上ご使用ください。

コピー機、レーザープリンタ、ドットプリンタ、熱転写プリンタなどインクジェットプリンタ以外では、使用できません。

水濡れや直射日光・経年変化により、印刷部分が変色することがあります。

プリンタの種類、プリンタの印刷モード、インク、ドライバソフトなどにより画像色・画像の精細さが変わることがあります。

用紙は必要なだけ取り出し、開封後はなるべく早めにお使いください。

保管上の注意

使用しない用紙は必ずビニール袋に入れて気温40℃以下、湿度80%以下の場所で水平に保管してください。外で長時間放置いたしますと、反りが発生したり変色する可能性があります。

高温、高湿、直射日光、蛍光灯の光などを避けて保管してください。

閉め切った車内やトランクなど、高温になる条件での保管は避けてください。